



発泡箱でトマトづくり！ 簡易養液栽培法のポイントは？

概要 Abstract

養液栽培システム「ういずOne」を用いた6月定植におけるミニトマト、大玉トマトの栽培管理法を開発した。

「ういずOne」：JA全農が開発した低コストで設置・撤去が容易な養液栽培システム

成果 Results

ポイント1

～ミニトマトの仕立て法、育苗法～

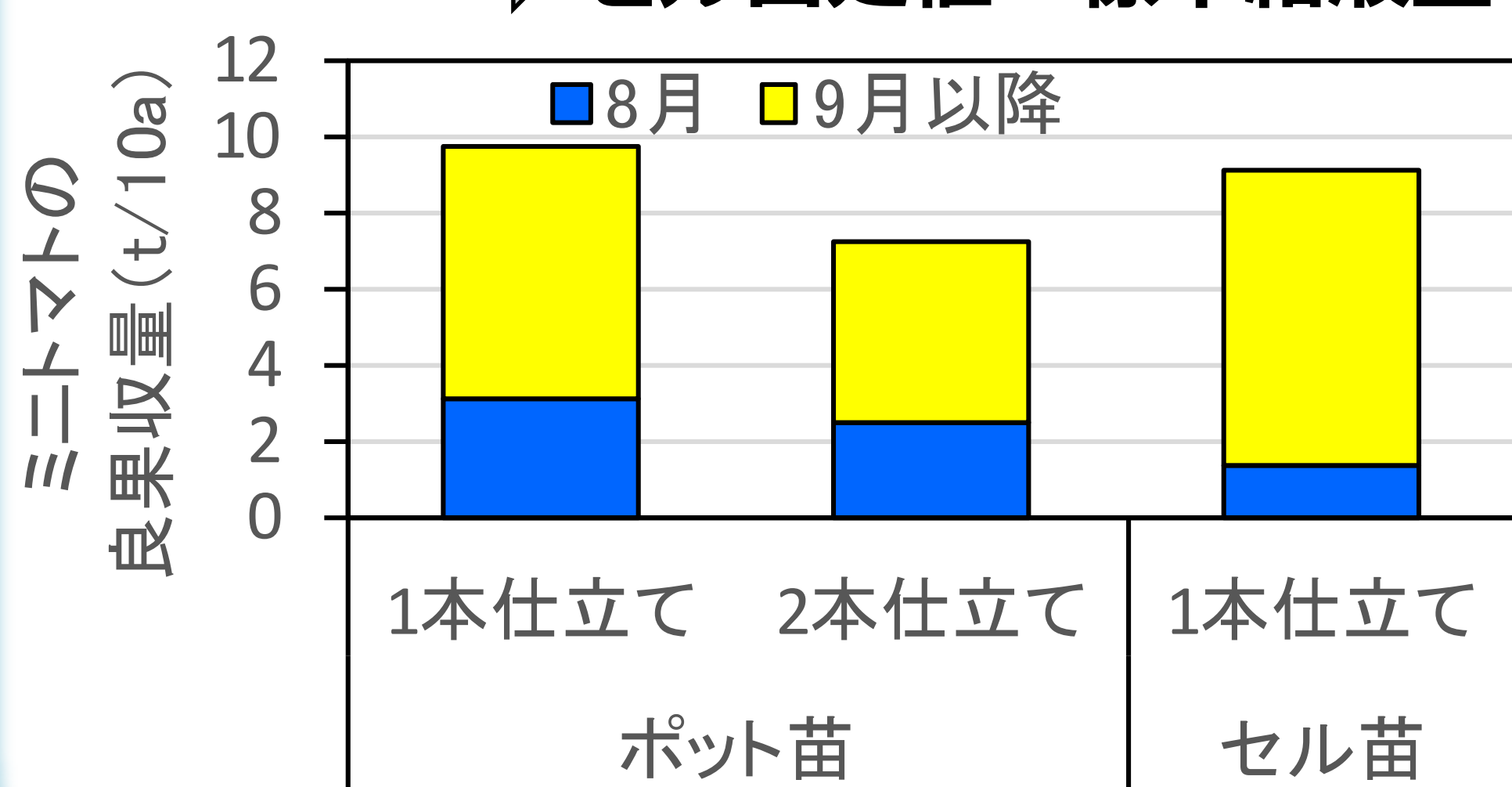
○多収 → 1本仕立て・標準給液量

○省力・低コスト

→ 2本仕立て・極多量給液量

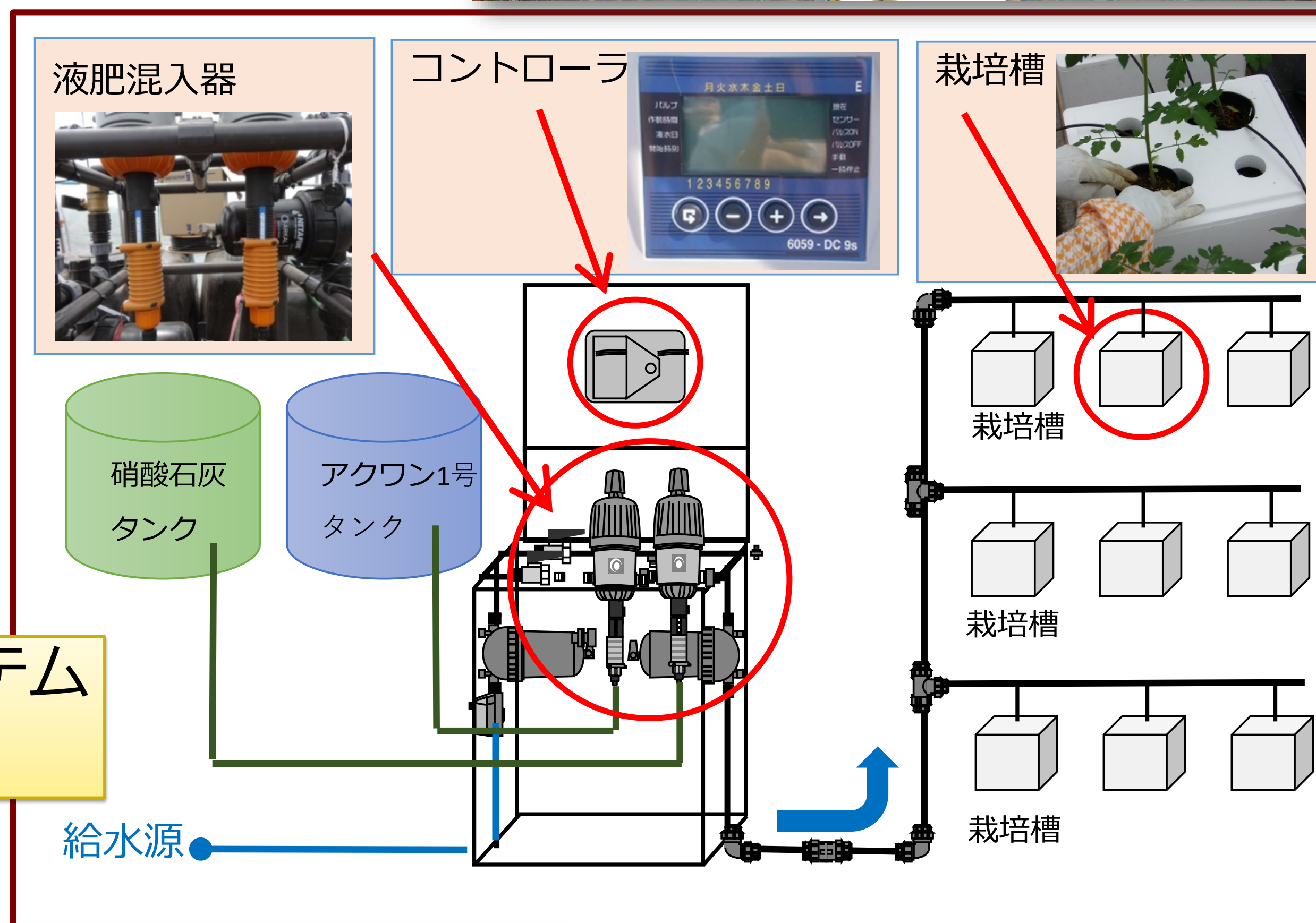
○育苗省略・秋季多収

→ セル苗定植・標準給液量



1本仕立て：H29, H30年標準給液区の平均値
2本仕立て：H30年極多量給液区の数値

本システムの概要

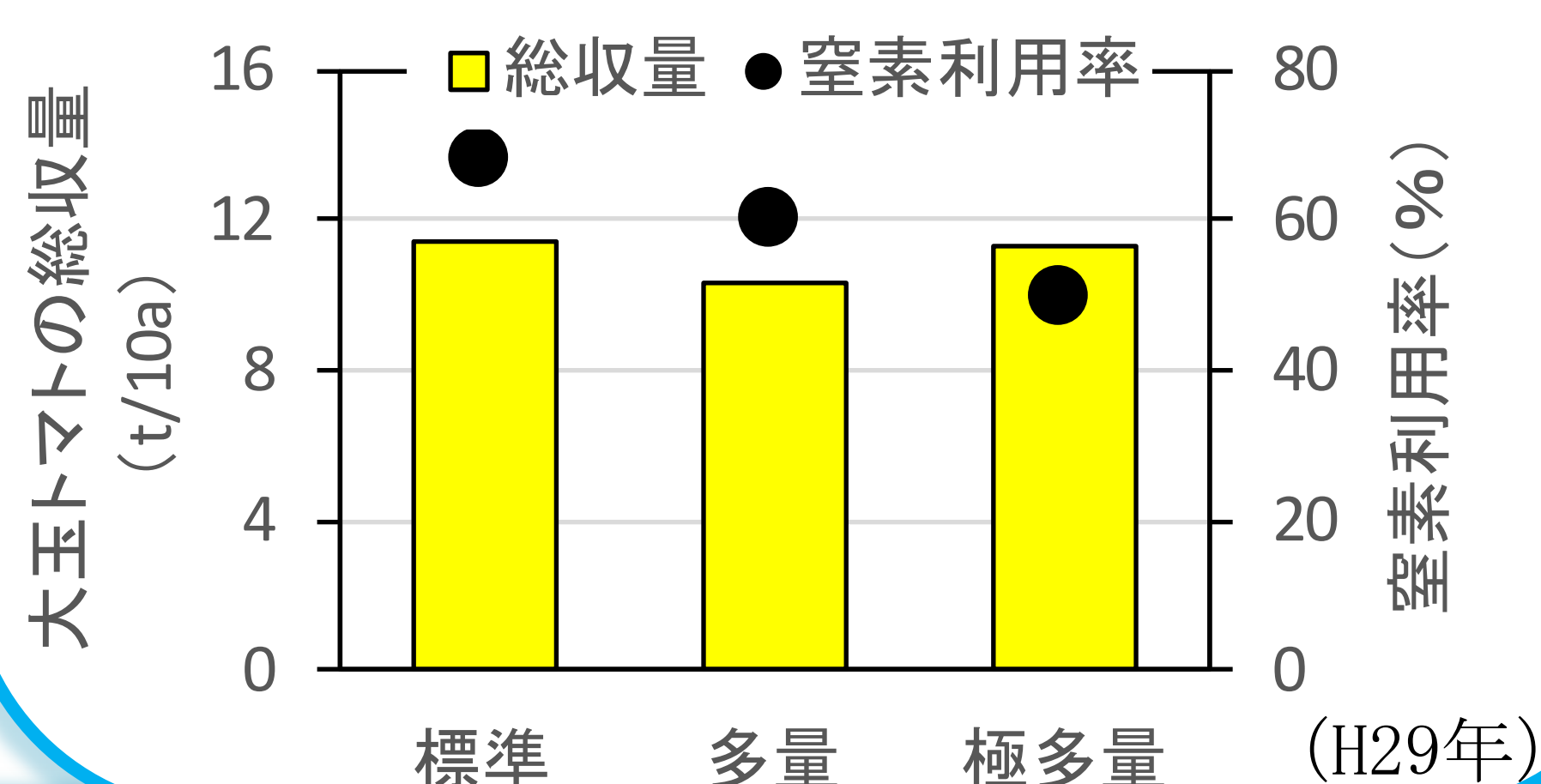


ポイント2 ～給液量、施肥量～

・過剰な給液は肥料の無駄

(排水量は給液量の30%程度)

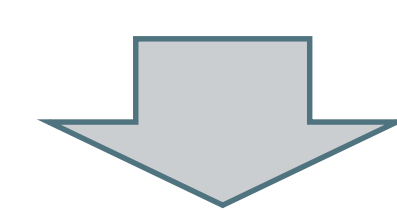
・施肥量はトマトの生育に合わせて適量与える (量的管理)



ポイント3

～栽培槽～

・栽培槽は発泡スチロール製であるため、夏場でも培地温は25℃以下



夏でも根が元気！

◎ミニトマト(1本仕立て、2本仕立て(主枝+第1果房直下側枝))

		6月	7月		8月	9月	10月
生育ステージ		定植～	第2果房開花～	第3果房開花～	収穫始め～	収穫中期～	摘心～終了
想定日数(日)		20	10	20	20	20	40
日給液量 (ml/株/日)	1本仕立て・標準給液	660	1188	1815	2178	1980	1485
	2本仕立て・極多量給液	660	1782	3267	3630	3300	2376
機器 設定値	給液間隔(時間)	2時間毎	2時間毎	1時間毎	1時間毎	1時間毎	1時間毎
	液肥原液混入率(%)	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5
	給液ECの目安(mS/cm)	0.7	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7

◎大玉トマト(1本仕立て、7段摘心)

		6月	7月		8月	9月	10月
生育ステージ		定植～	第2果房開花～	第3果房開花～	収穫始め～	収穫中期～	収穫後期～終了
想定日数(日)		15	10	25	20	25	25
日給液量(ml/株/日)		500	1000	2100	2133	1633	1067
機器 設定値	給液間隔(時間)	2時間毎	2時間毎	1時間毎	1時間毎	1時間毎	1時間毎
	液肥原液混入率(%)	0.6	0.8	1.1	1.0	0.6	0.6
	給液ECの目安(mS/cm)	0.9	1.1	1.6	1.4	0.9	0.9

ポイント4

～給液管理法の目安～

・給液は日の出2～3時間後から、日の入り2～3時間前を目安に！(早朝、夕方はダメ)

・晴天で植物体が萎れるようなら、給液量を増やす。

・液肥混入率と給液ECは適宜チェックしよう！

(液肥：アクワン1号15kg/200Lと硝酸石灰10kg/200Lで作成)

普及 Dissemination

- ・水稻育苗後のハウスや遊休ハウスなどで活用できる。
- ・本成果は、6月定植のミニトマトと大玉トマトを対象とする。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
研究部 花き野菜グループ、生産環境グループ
0125-28-2800
hanayasai-agri@hro.or.jp